



「松伏町の公共交通についての調査」等の実施報告について

I. 「松伏町の公共交通についての調査」

(町民へのアンケート)

1. 調査の実施概要

【調査対象】 松伏町民(満16歳以上)から、3000人を無作為抽出

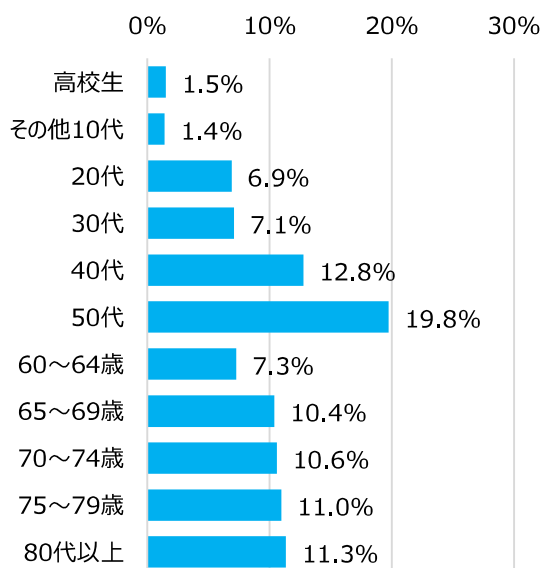
【調査期間】 令和6年(2024年)7月～8月

【調査方法】 郵送配布、郵送回収 及び WEB 回答

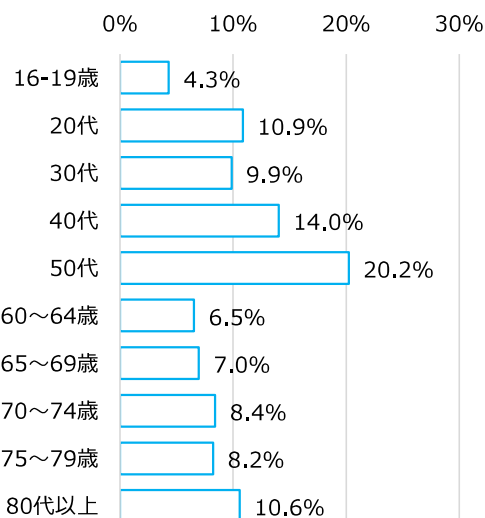
【有効回収数】 1065票(有効回収率35.5%) ※郵送:789票、WEB 回答:276票

《この調査の回答者》

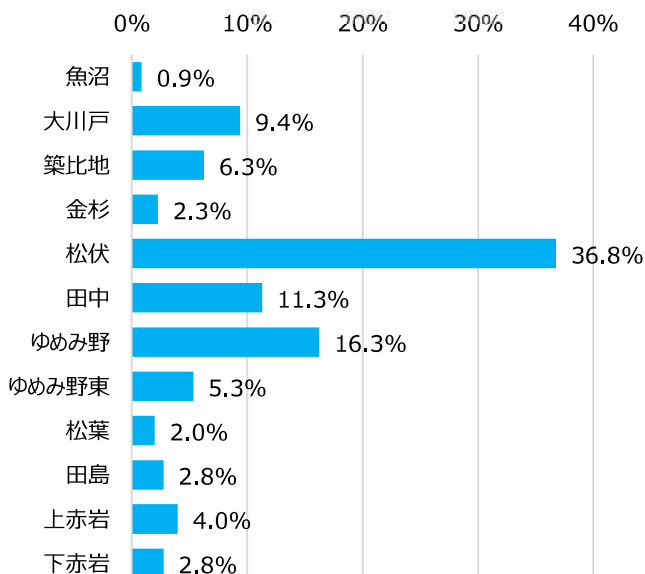
回答者の年代



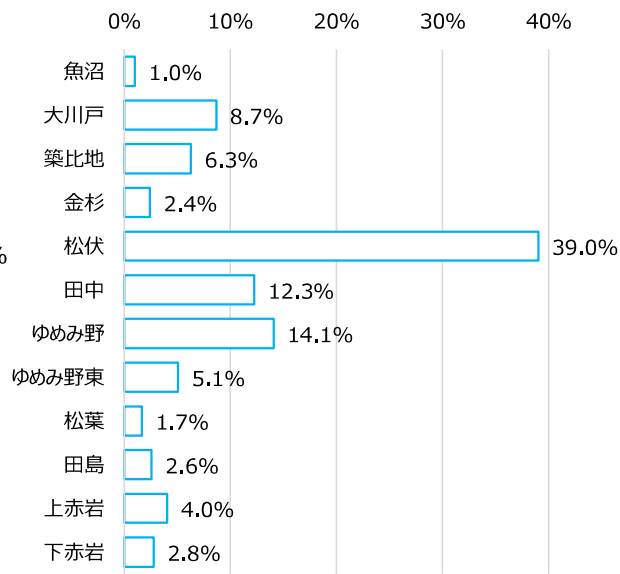
(参考：松伏町民の年代別人口比率)



回答者の居住地



(参考：松伏町民の居住地別人口比率)

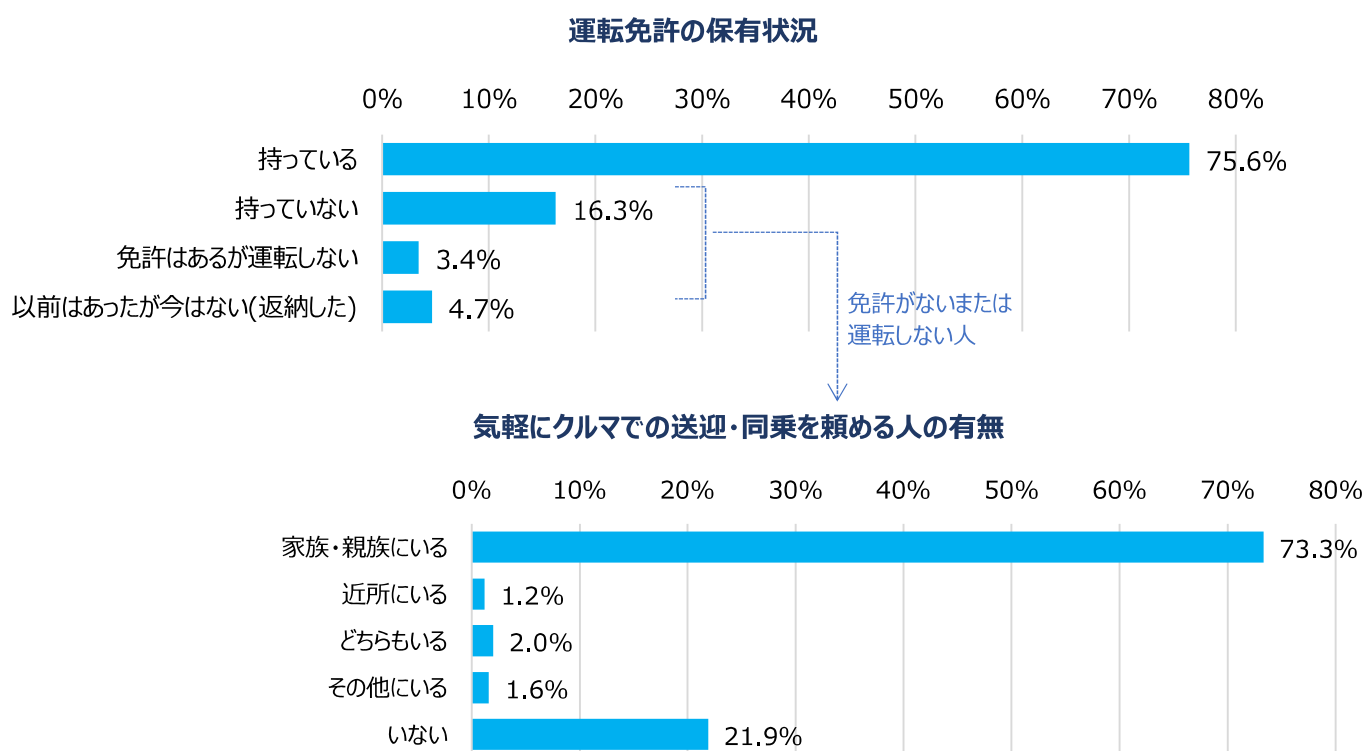


1-2. 主な調査結果

《外出手段等の状況》

(1) 運転免許の保有状況等について

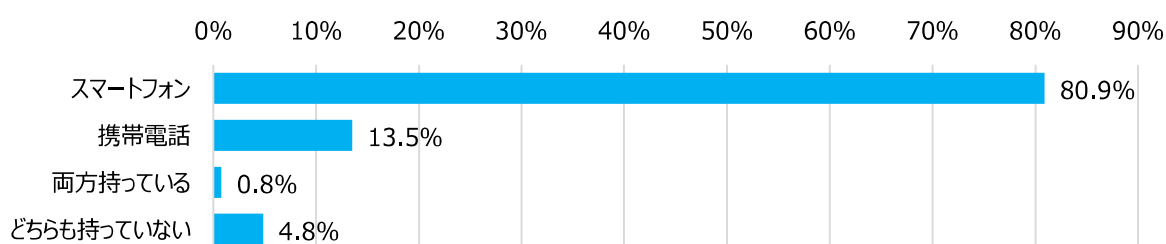
- 回答者(町民)のうち、7割以上が運転免許を持っており、クルマを運転している状況です。
- 運転免許のない人または運転しない人のうち、8割程度が、気軽にクルマでの送迎を頼める人がいます。これらのことから、町民の大半が、外出手段としてクルマを利用可能な状況です。



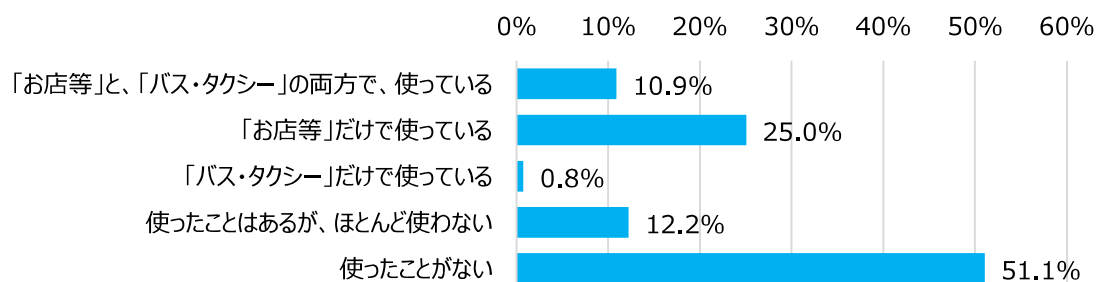
(2) ツールの利用状況等について

- 回答者のほとんどの人が、「スマートフォンまたは携帯電話」を持っています。
- 「QRコード決済」については、半数程度の人が使っていますが、バス・タクシーで使っている人は1割程度にとどまっています。
- 「交通系 IC カード」は、8割程度の人が持っていますが、持っても使っていない人がいる状況です。
- 「経路検索アプリ」については、いつも使っている人が4割弱にとどまっており、使ったことがない人が3割弱いる状況です。

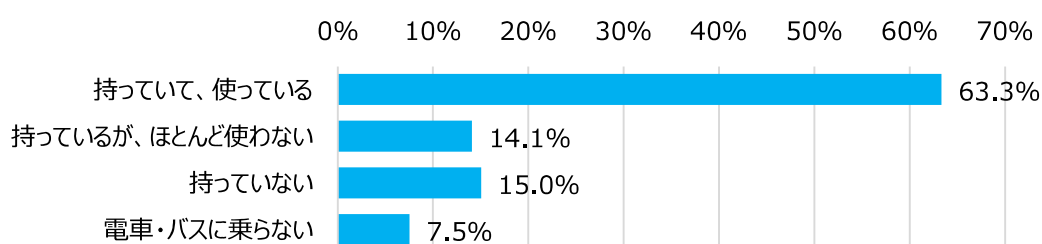
スマートフォン・携帯電話の保有状況



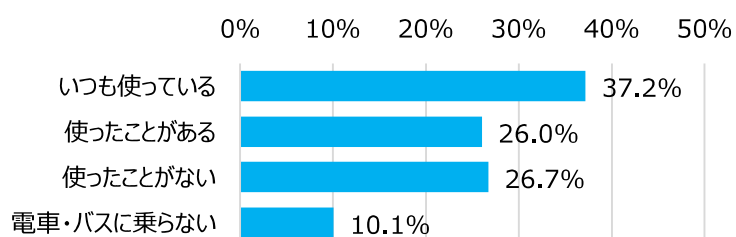
QRコード決済の利用状況



交通系 IC カードの利用状況



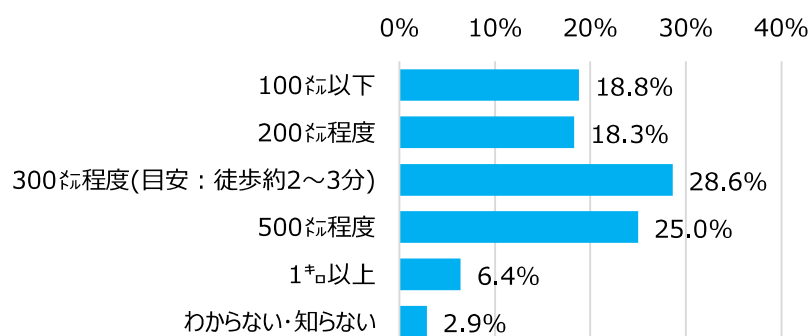
経路検索アプリの利用状況



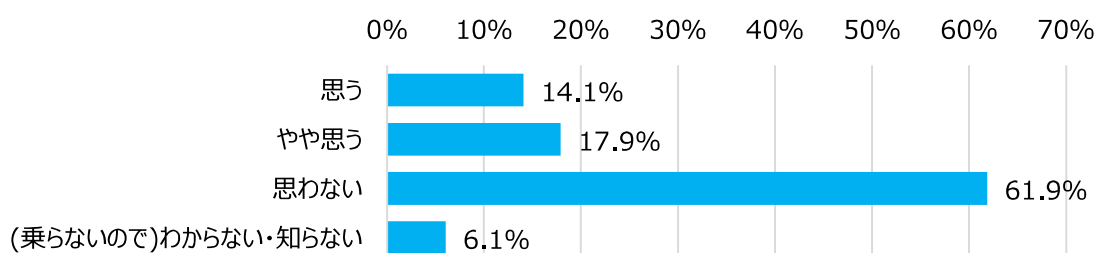
(3) 最寄りのバス停、駅について

- 自宅から最寄りのバス停までの距離が300m以内の人が計7割弱を占めています。
- 最寄りのバス停までの距離を不便だと思う人が計3割以上いる状況です。

自宅から最寄りのバス停までの距離

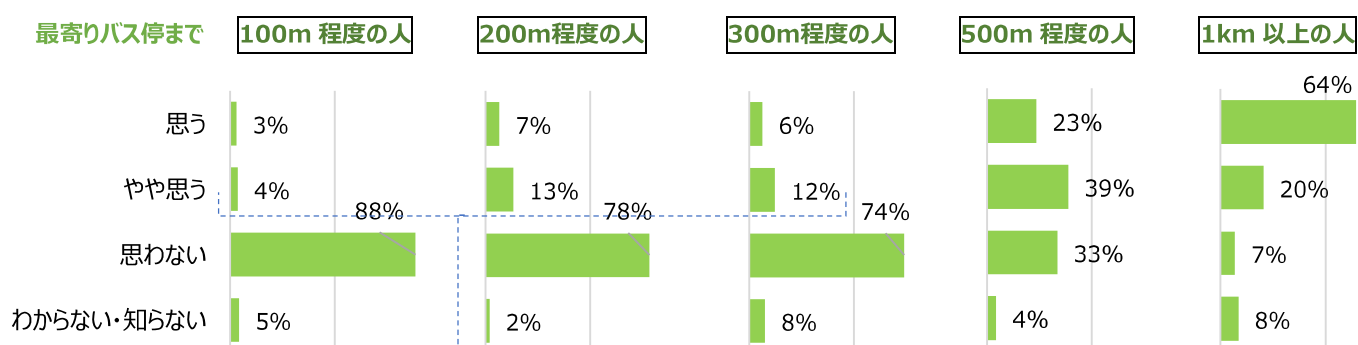


最寄りのバス停までの距離を不便だと思うか

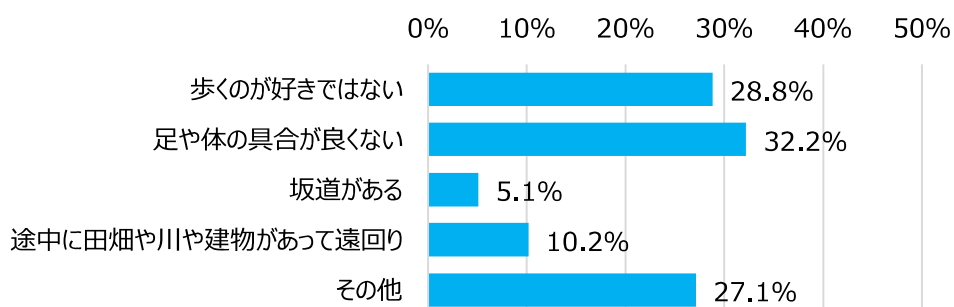


- 最寄りバス停までの距離別にみると、300m程度までの場合では、不便と思う人が計2割程度以下となっています。
- 300m以下でも不便だという人は少数ですが、その主な理由は、「足や体の具合がよくない」、「歩くのが好きではない」等が多くなっています。

最寄りのバス停までの距離を不便だと思うか（距離別）



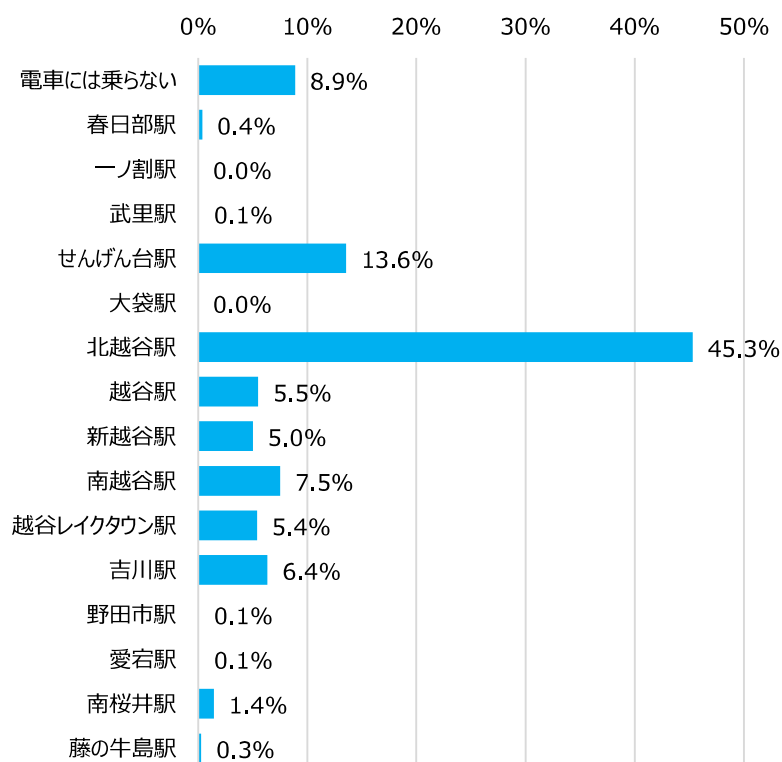
300m 以下でも不便だという人の理由【複数選択可】



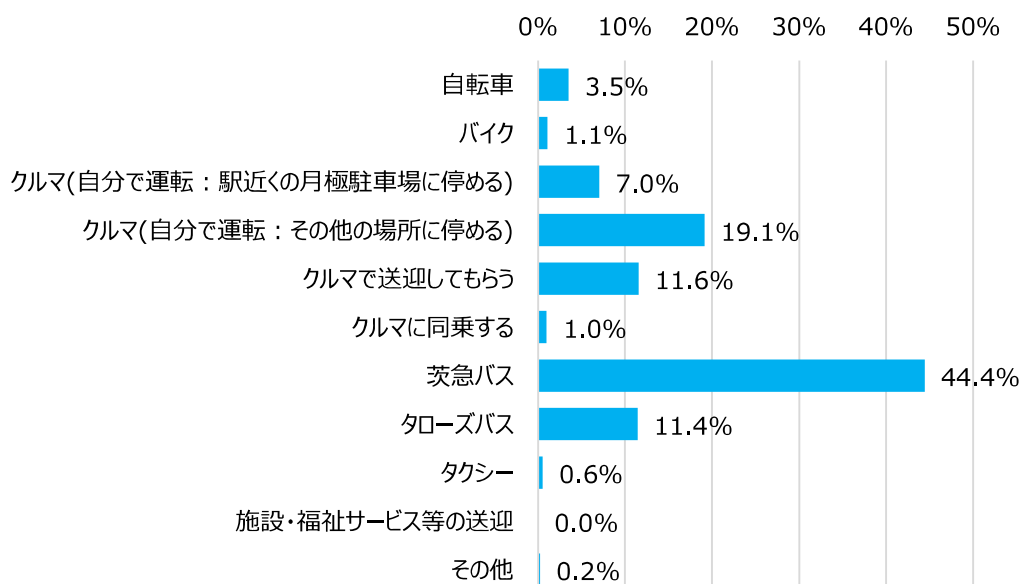
*参考：その他は、
道路が狭くて危険、暗くて怖い、クルマが怖い
暑い日に歩くのがつらい。
荷物がある など

- 電車で行く際に利用する駅は、北越谷駅が最も多く、次いでせんげん台駅が多くなっています。
- 駅までのアクセス手段は、路線バス(茨急バス、タローズバス)が、計6割弱を占めています。またクルマ(運転・送迎・同乗)は、計4割弱を占めています。

電車で出かける際に最もよく使う駅



駅までのアクセス手段（主なもの1つ）

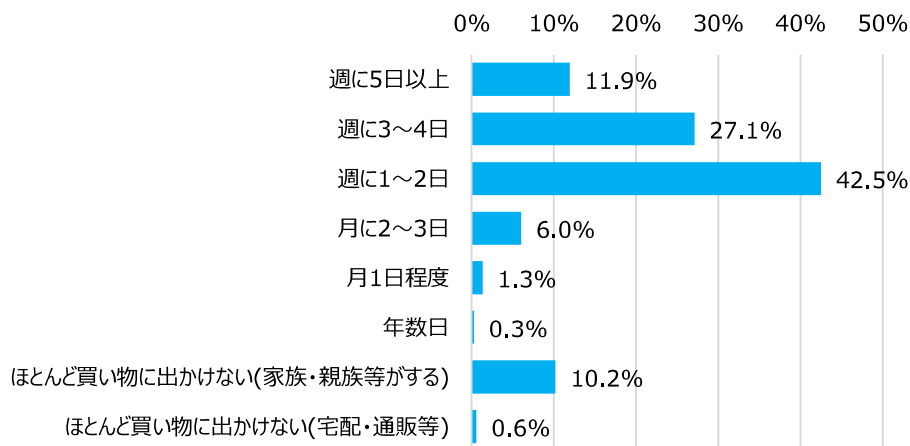


《ふだんの外出の状況》

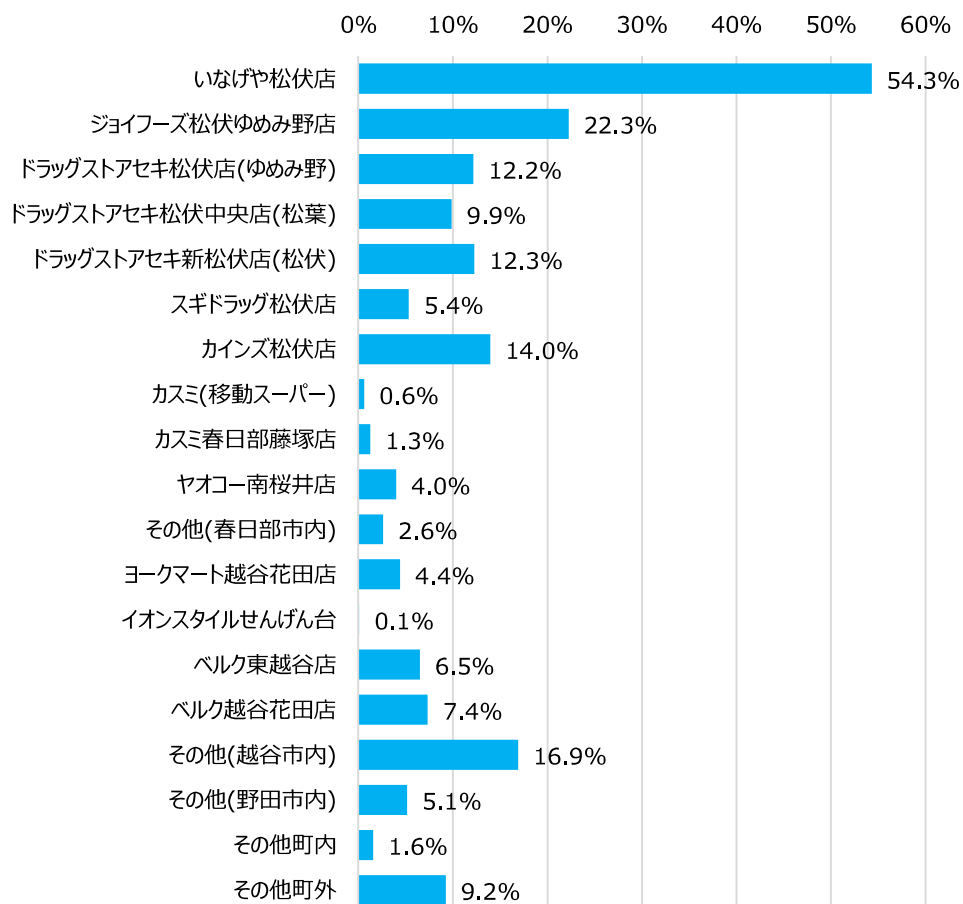
(1) ふだんの買い物

- 「ふだんの買い物」での外出頻度は、週に1～2日、週に3～4日という人が多くなっています。
- 主な買い物先は、いなげや松伏店が最も多く、その他でも町内に立地する店舗が多くなっています。近隣では、越谷市の店舗に出かける人も多くなっています。

ふだんの買い物に出かける日数

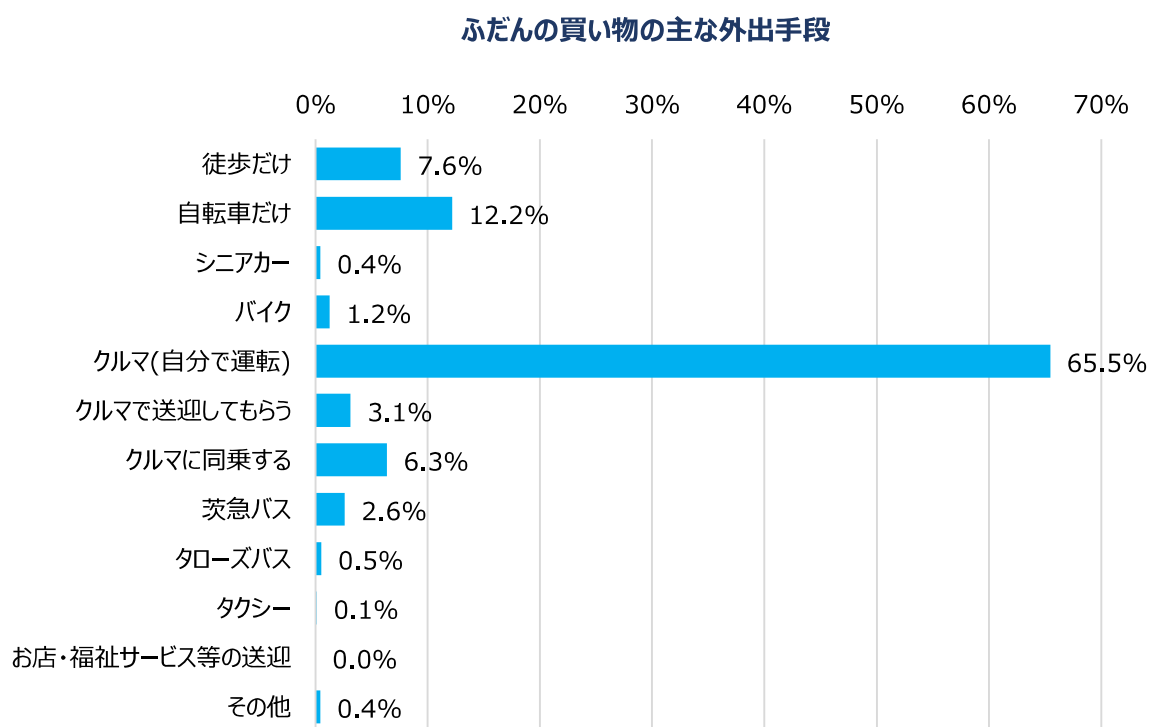


ふだんの主な買い物先【最もよく行く場所を2つまで選択可】



(2) ふだんの買い物のお出手段

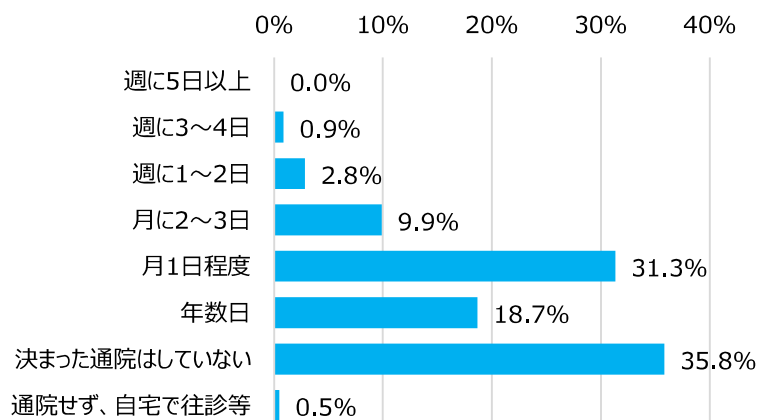
- 「ふだんの買い物」での主なお出手段は、クルマ(自分で運転)が突出して多くなっています。送迎、同乗を合わせると、計7割以上の方がクルマでお出している状況です。
- その他では徒歩、自転車が多く、ふだんの買い物で路線バスを使う人は少ないのが現状です。



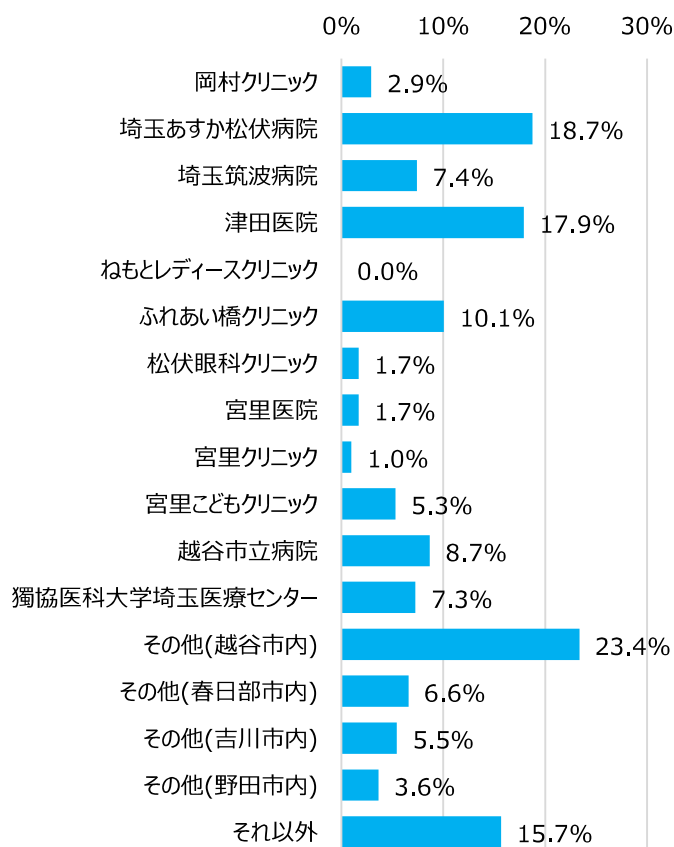
(3) ふだんの通院

- 「ふだんの通院」は、していない人、月に1日程度している人が多くなっています。
- 主な通院先は、松伏町内の病院、診療所のほか、越谷市内へ通う人が多くなっています。

ふだんの通院に出かける日数

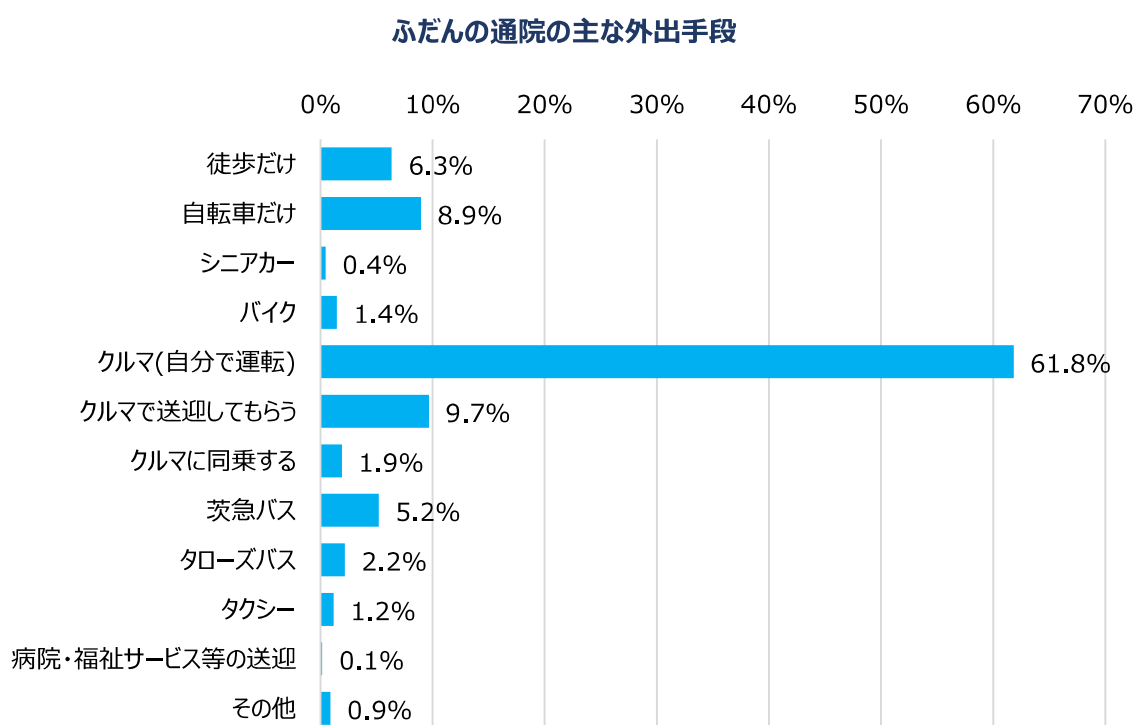


ふだんの主な通院先【最もよく行く場所を2つまで選択可】



(4) ふだんの通院の外出手段

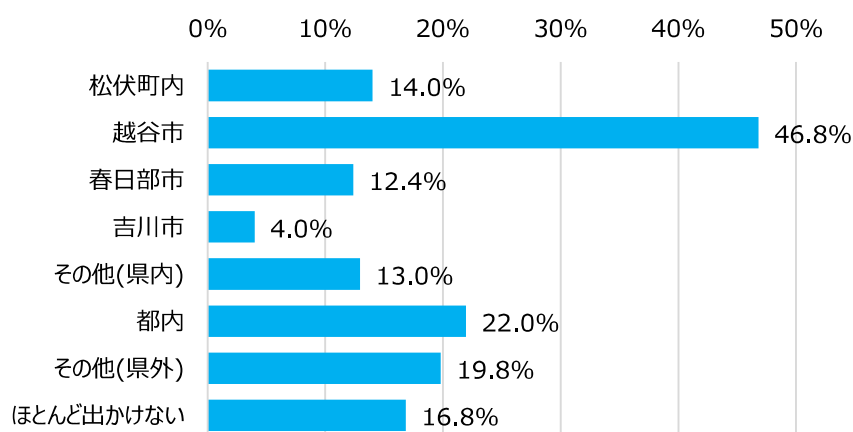
- クルマ(自分で運転)が突出して多くなっており、送迎、同乗を合わせると、計7割以上を占めます。なお、ふだんの買い物と比較して、クルマで送迎してもらう人の割合がやや大きい傾向があります。
- 路線バスを使う人の割合も、ふだんの買い物と比較してやや大きい傾向があります。



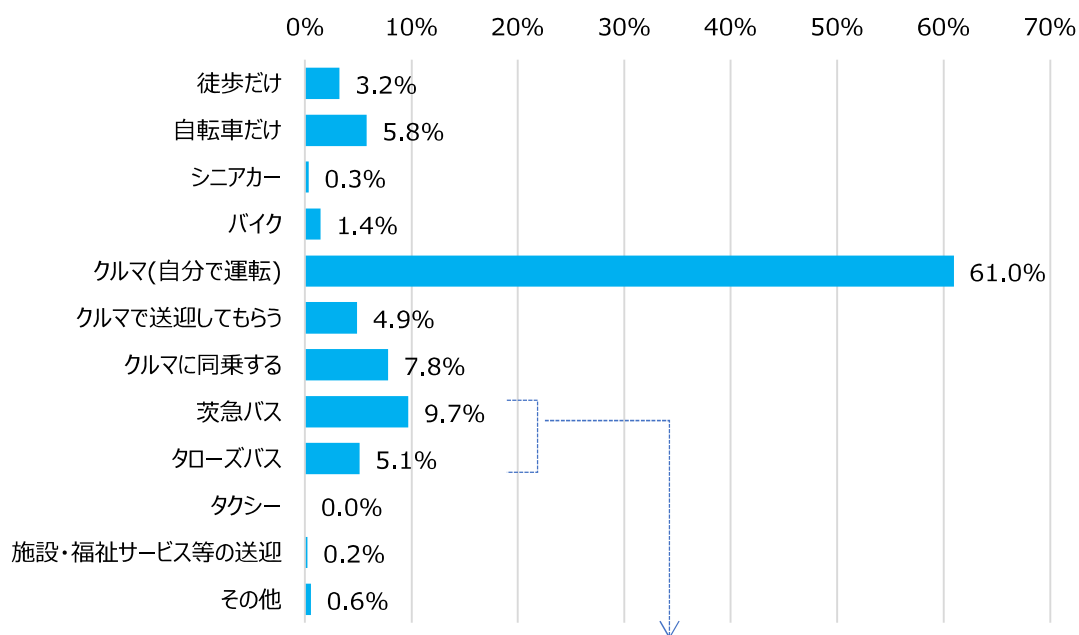
(5) 趣味・遊び・特別な買い物等でのお出かけ

- 越谷市や都内まで行く人が多くなっています。
- 外出手段はクルマ(運転・送迎・同乗)が多くなっています。ただし、路線バスが、ふだんの買い物、通院よりも多くなっています。
- 路線バスで出かける人の半数程度が、電車に乗り継ぎをしています。

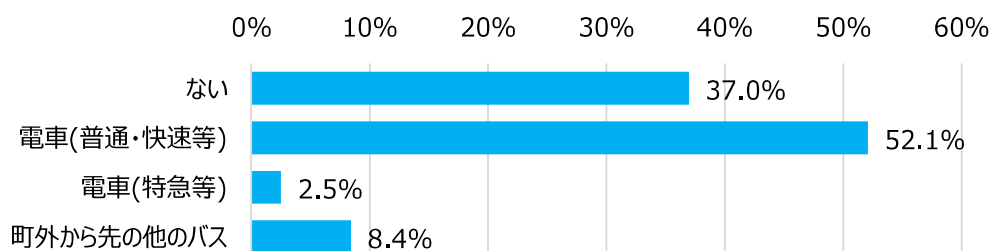
お出かけでよく行く場所 【最もよく行く場所を2つまで選択可】



お出かけの手段



(路線バスで出かける人) 乗り継ぐもの

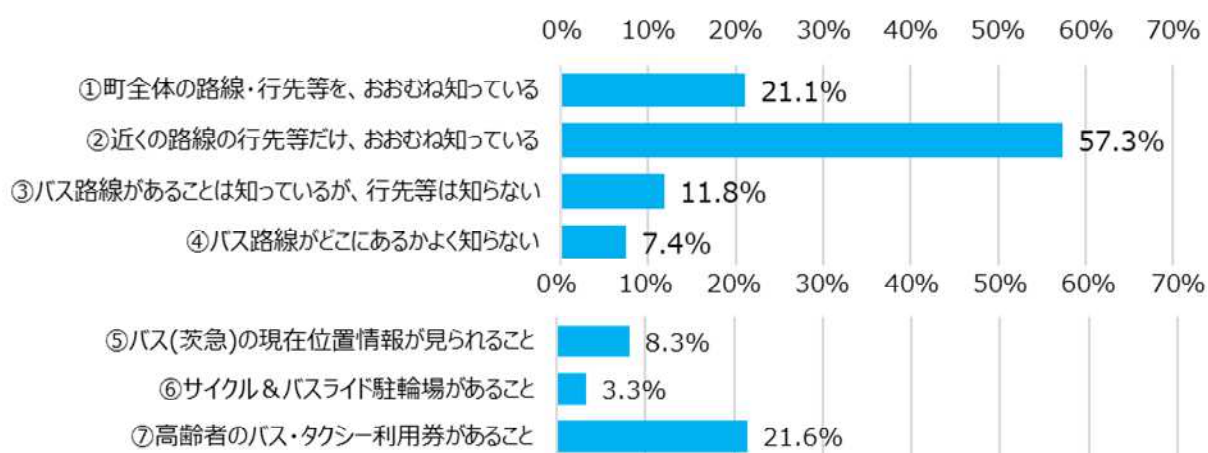


(6) 外出手段（全般）

・町内のバス等について知っていること

- 町内のバスについて、近くの路線または町全体の路線の行き先等を知っている人が計8割程度を占めています。
- 一方、町内のバスの行き先等を知らない人が計2割程度いるのが現状です。
- 高齢者のバス・タクシー利用券については2割程度の人を知っていますが、バスの現在位置情報、サイクル&バスライドの取り組みについては知っている人が1未満の状況です。

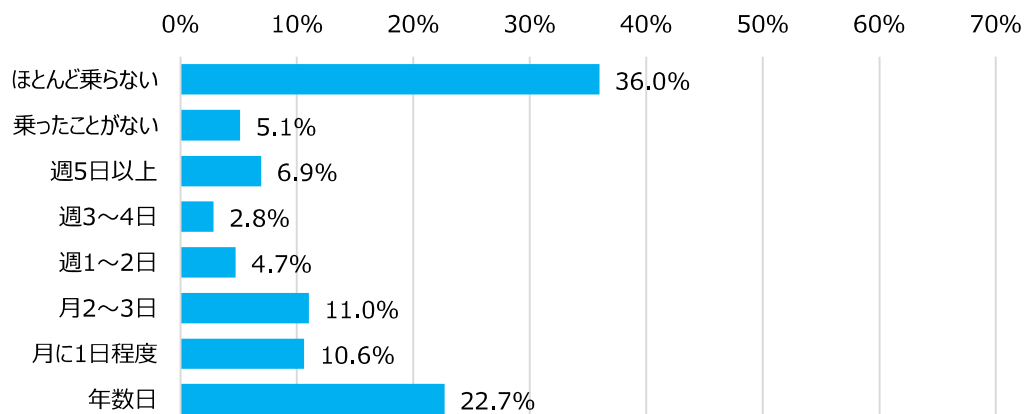
町内のバス等について知っていること
【①～④で1つだけ、⑤～⑦は複数選択可】



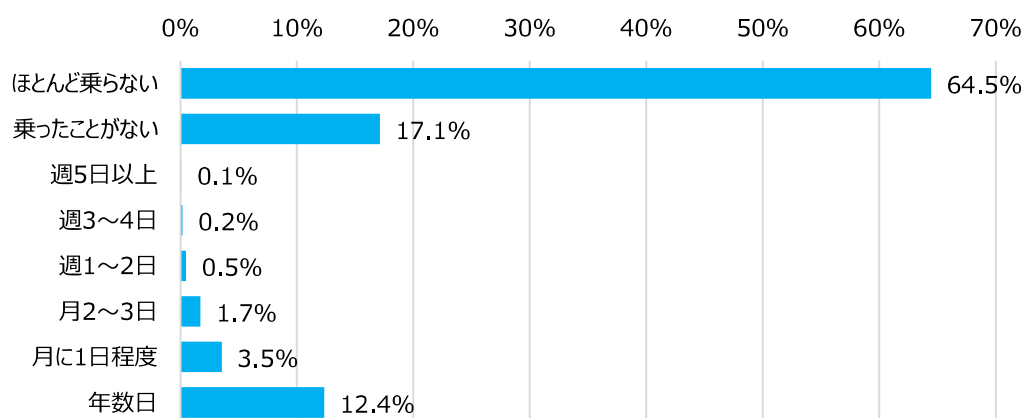
・町内の公共交通の利用頻度

- 町内の公共交通の利用頻度について、「町内の路線バス」に、週1日以上乗る人は計2割弱で、月1日以上乗る人を含めると計4割弱となっています。一方、ほとんど乗らない、乗ったことがないという人も計4割程度いるのが現状です。
- 「町内のタクシー」については、ほとんど乗らない、乗ったことがないという人が計8割程度を占めています。

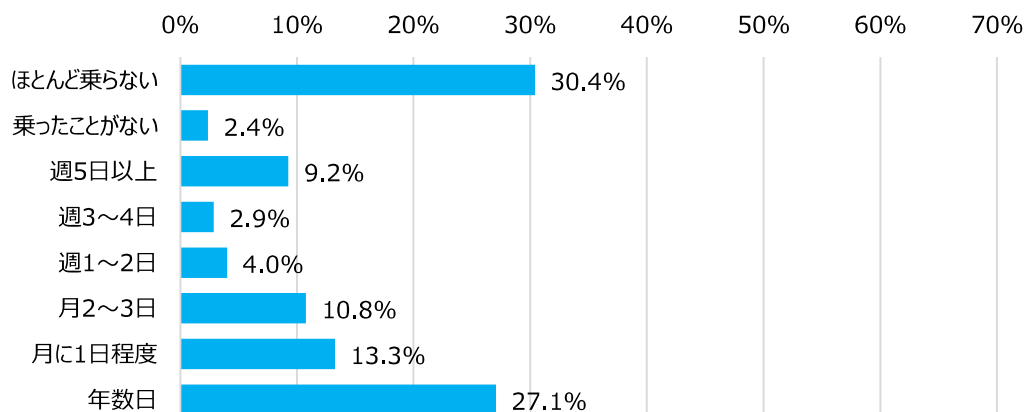
利用頻度（町内の路線バス）



利用頻度（町内のタクシー）



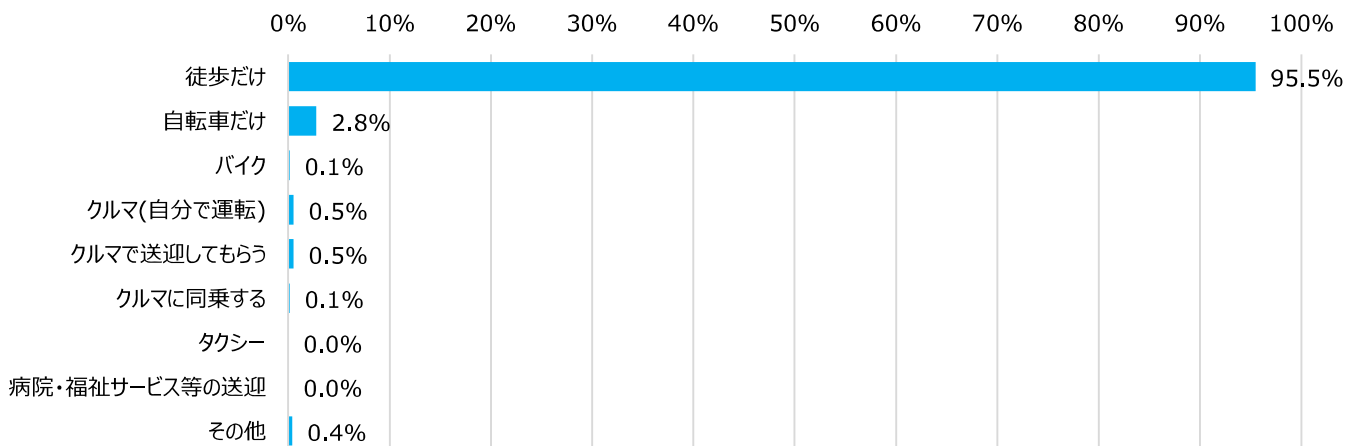
参考：利用頻度（鉄道：町外）



・（バスに乗ることがある人の）バス停までの移動手段

- 路線バスに乗る人の、バス停までの移動手段は、ほとんどの人が徒歩だけです。このことから、本町の路線バスは、主にバス停から徒歩圏の人に利用されている状況と見受けられます。

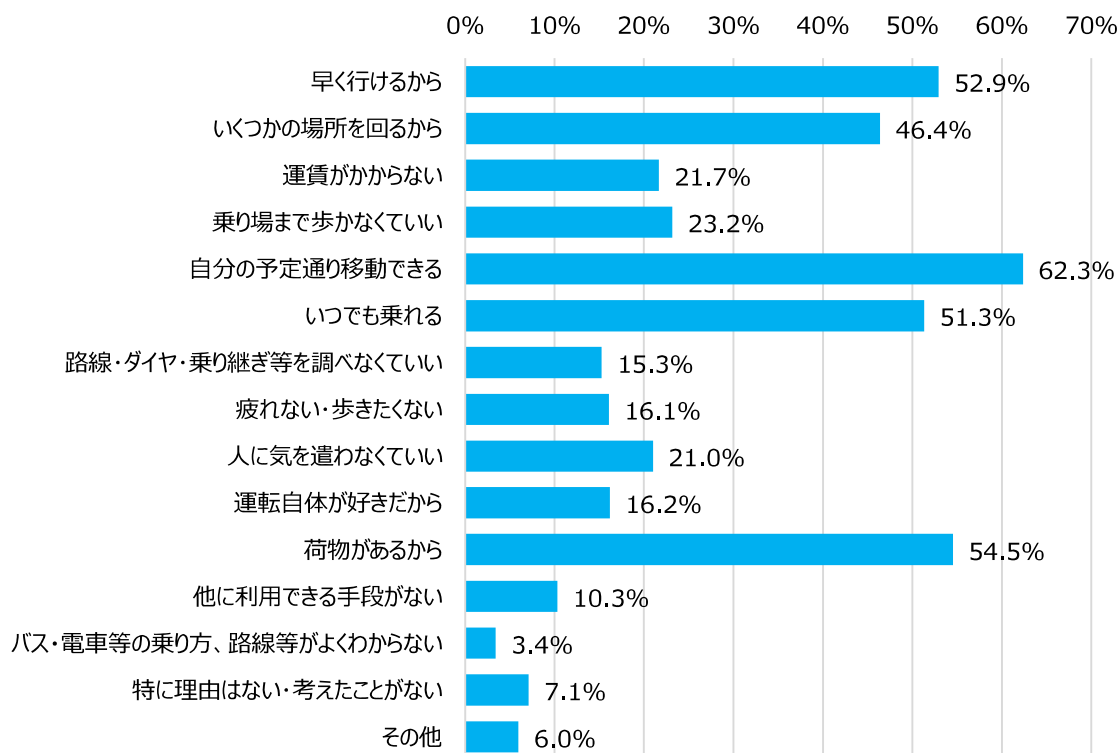
（バスに乗ることがある人の）バス停までの移動手段（主なもの 1 つ）



・クルマ（運転、送迎・同乗）を使う人の理由

- クルマを使う人の主な理由は多様ですが、早く行ける、いくつかの場所を回る、予定通りになる、いつでも乗れるといった随意性や自由度の面の理由が多くなっています。
- また、荷物があるという理由を挙げる人も多くなっています。

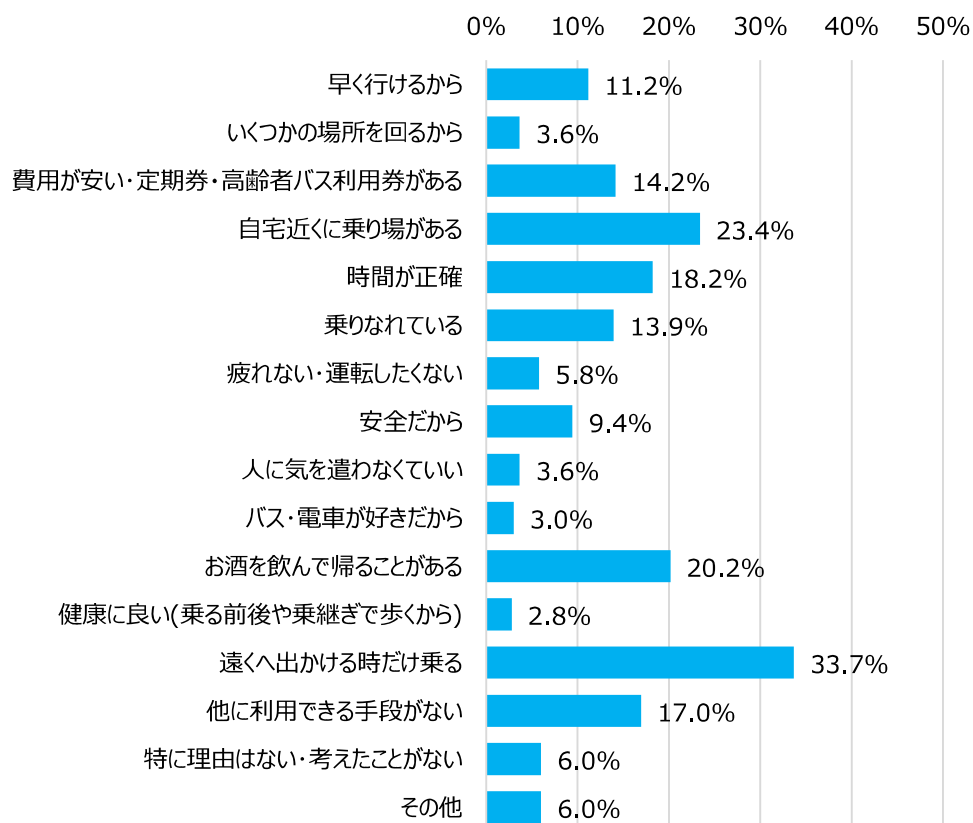
主にクルマを使う人の理由【複数選択可】



・バス・鉄道を使う人の理由

- バス・鉄道を使う人の理由では、遠くへ出かける時だけ乗るという人が最も多くなっています。
- その他では、自宅近くに乗り場がある、お酒を飲んで帰る、時間が正確の順で多くなっています。

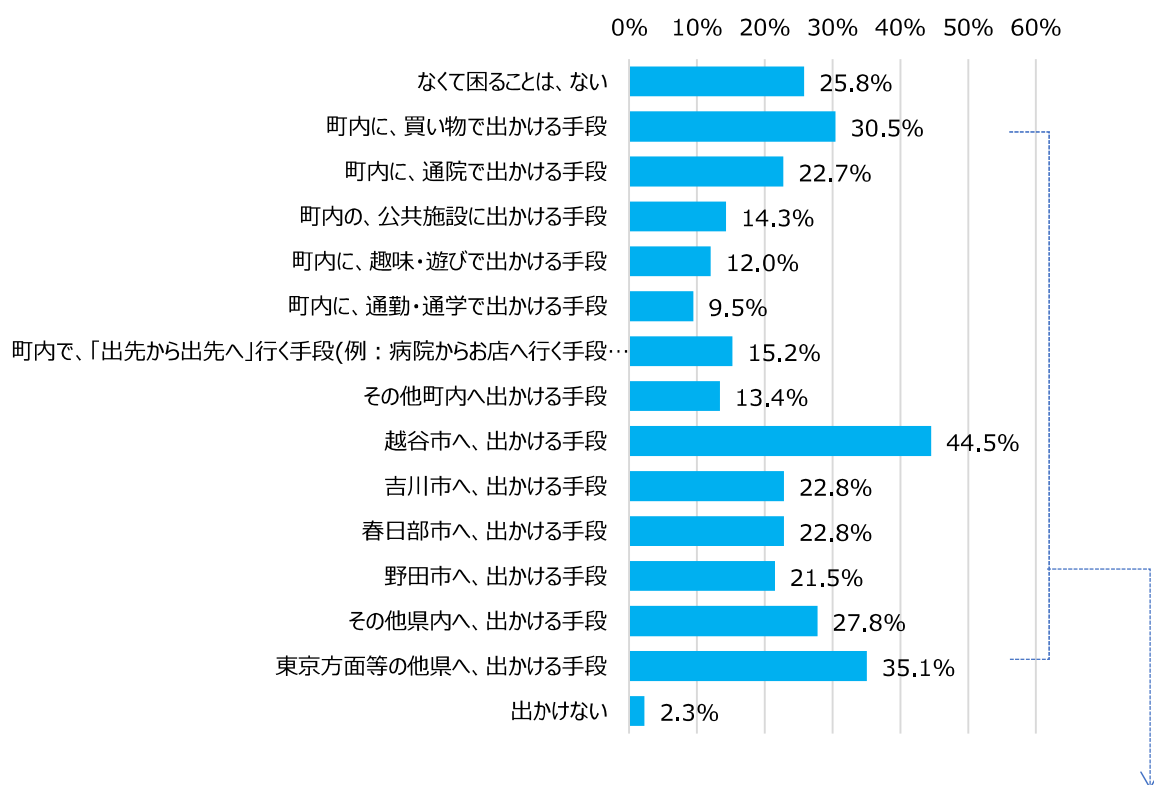
公共交通を使う人の理由【複数選択可】



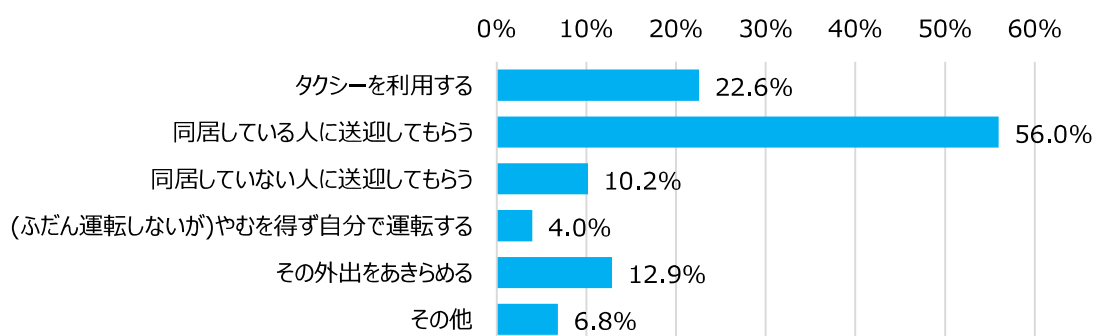
・外出手段が「なくて困る事（クルマ、公共交通を含む）」の有無

- 外出手段がなくて困ることが「ない」と回答した人は、この設問に回答した全体の1／4程度でした。
- なくて困る事の内容は、越谷市へ出かける手段が最も多く、次いで東京方面へ出かける手段が多くなっています。
- ただし、なくて困る事がある人も、外出手段が全くないわけではなく、家族・親族や知人等の送迎や、タクシーを利用し、大半の人が外出できている状況です。なお、なくて困る事のある人のうち、外出をあきらめる人は1割程度います。

なくて困る事の有無【複数選択可】



(なくて困る事のある人) その外出をどうしているか【複数選択】

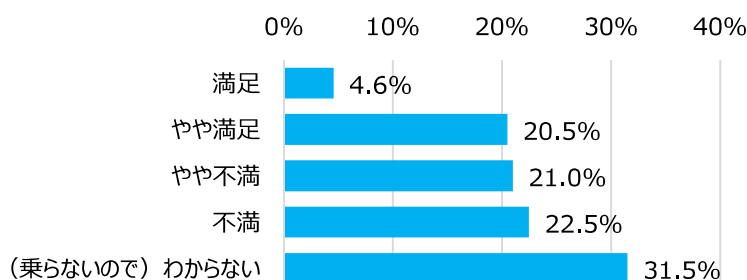


《松伏町の公共交通についての考え》

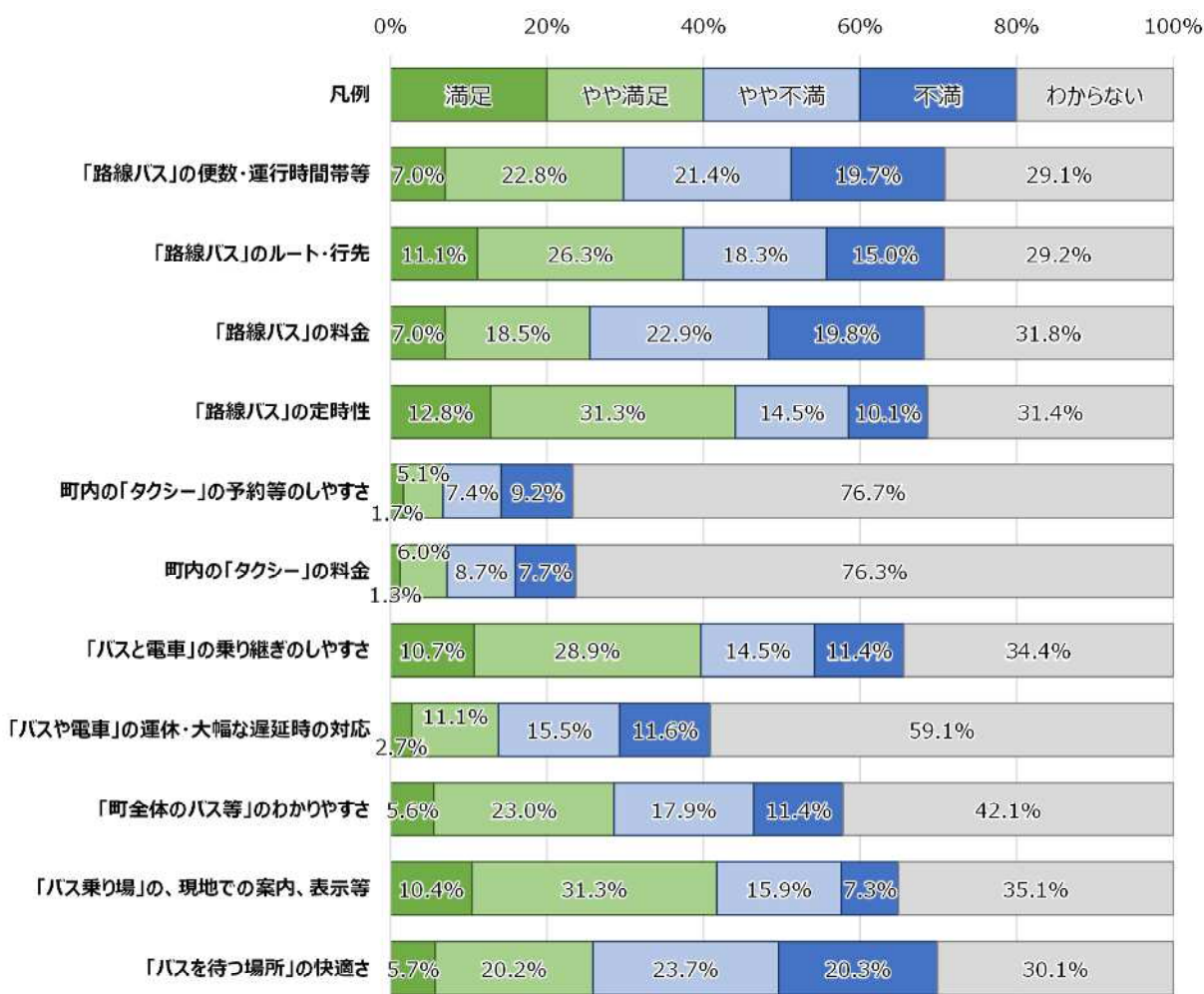
(1) 公共交通の全体的な満足度

- 本町の公共交通に対する全体的な満足度については、「(乗らないので満足かどうか)わからない」という人が最も多いのが現状です。
- 回答があった中では、不満・やや不満という人が、満足・やや満足を上まわっています。
- 項目別でも「わからない」という人が多い状況ですが、不満・やや不満な項目として、バスを待つ場所、バスの料金、便数・運行時間帯が多く挙げられています。

公共交通の全体的な満足度

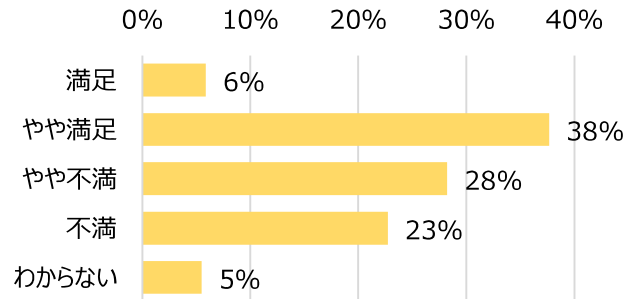


各項目の満足度



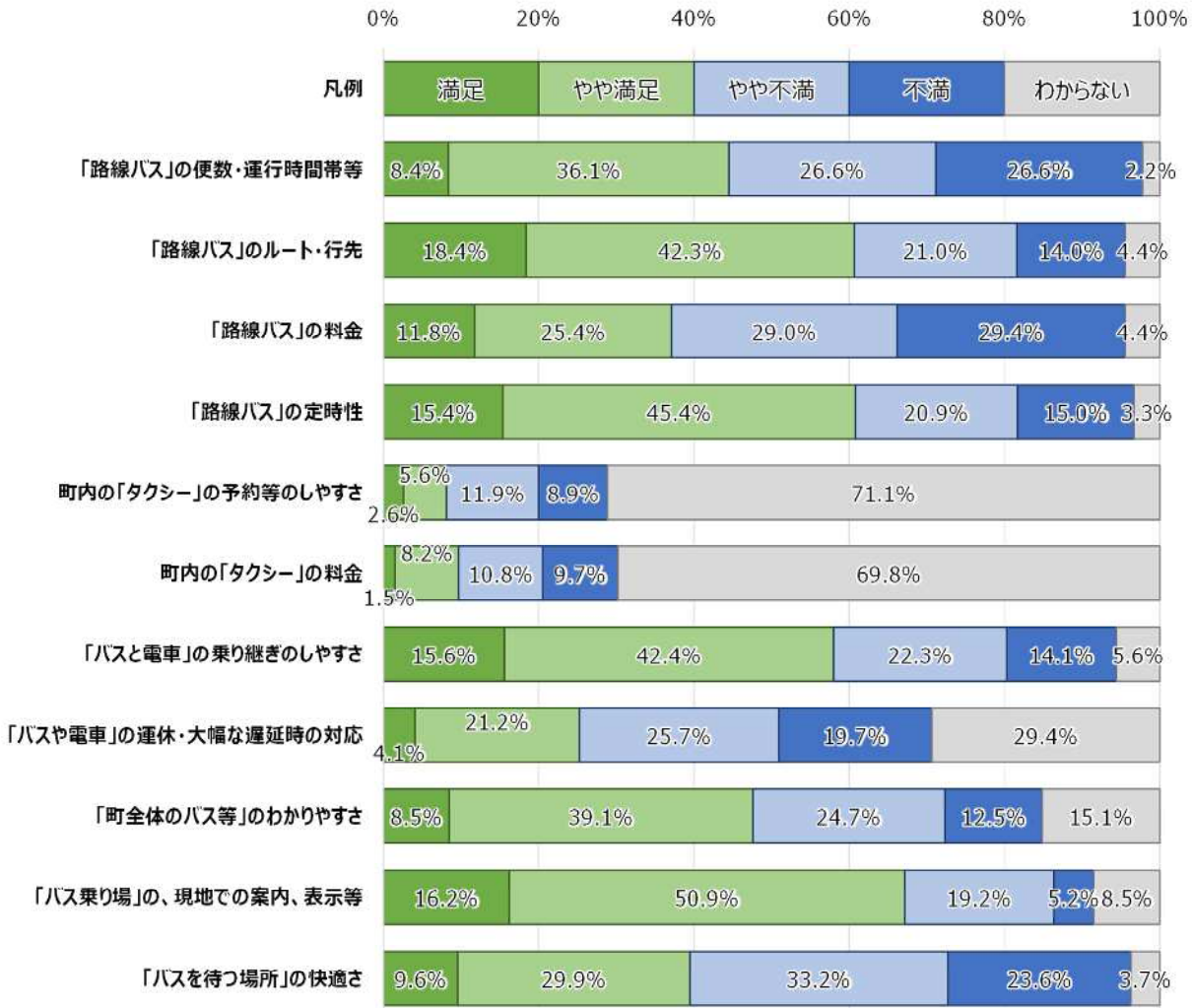
参考（町内のバスまたはタクシーを月2-3日以上使う人）

全体的な満足度



参考（町内のバスまたはタクシーを月2-3日以上使う人）

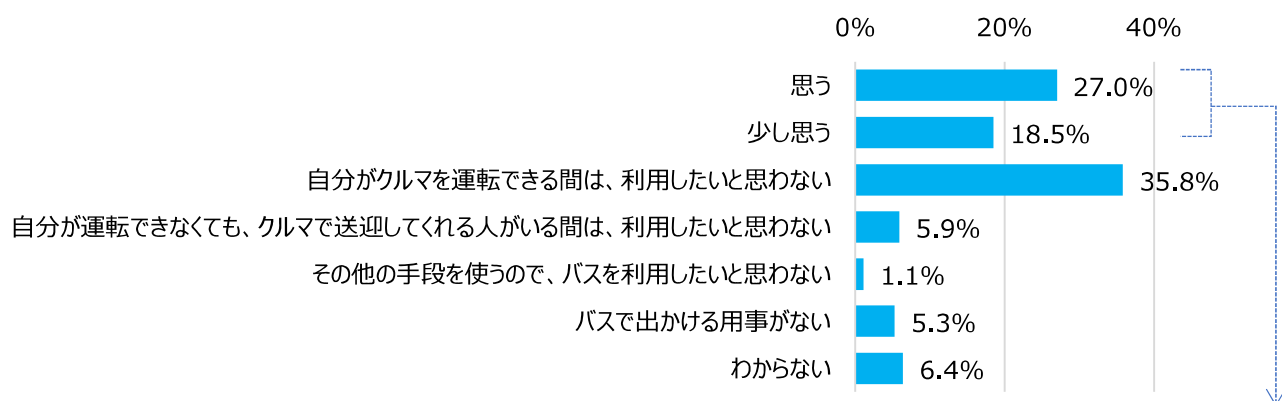
各項目の満足度



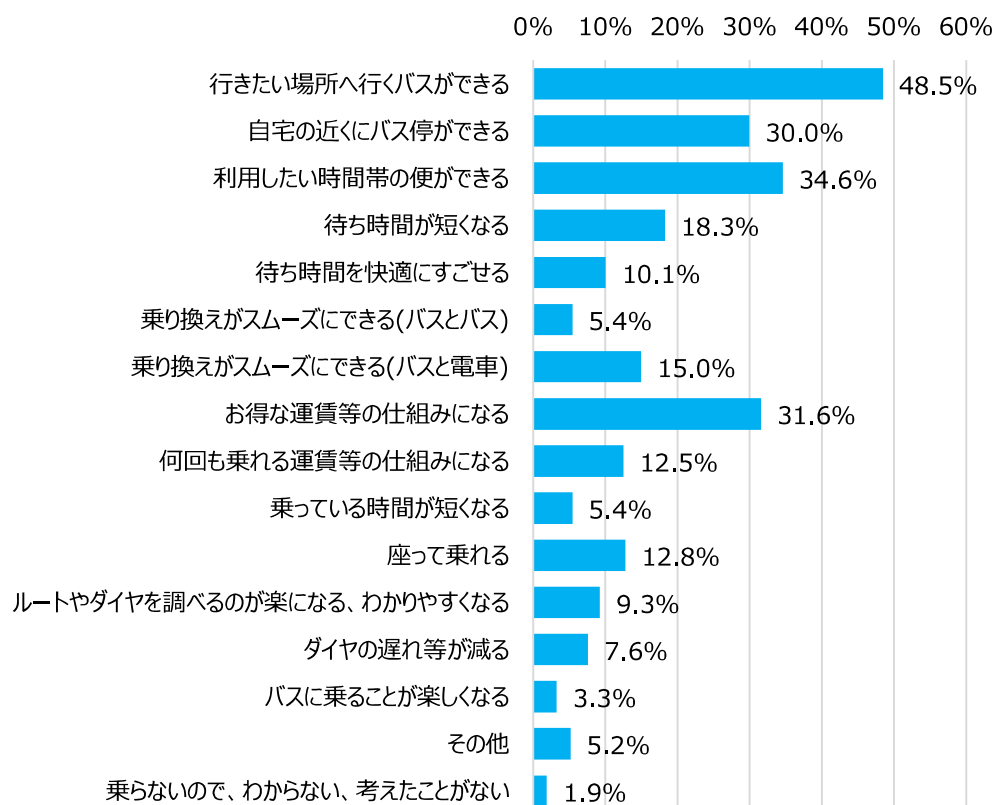
(2) 路線バスの今後の利用意向

- 「条件が合えば、もっとバスを利用したい」と思う人は計5割弱です。
- もっと利用したいという人の条件は、行きたい場所へ行くバス、自宅近くのバス停等の「場所の面の希望」、利用したい時間帯の便、待ち時間等の「便の面の希望」、お得、何回も乗れる等の「運賃の面の希望」が多く挙げられています。

条件が合えば、もっとバスを利用したいか



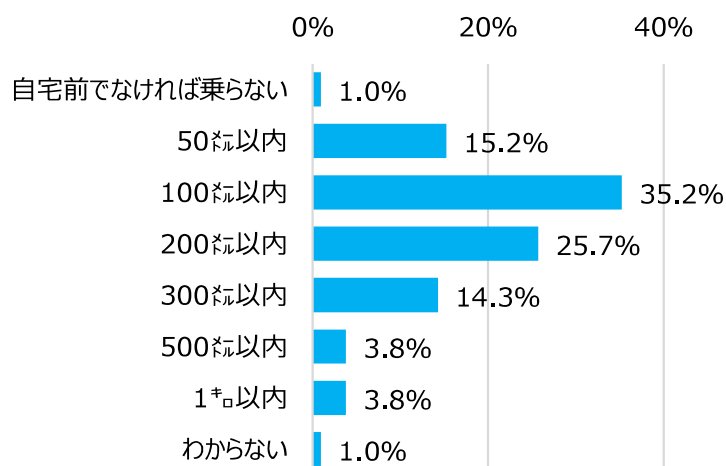
どのようになれば、利用したいと思うか【3つまで選択可】



・（自宅近くのバス停を望む人）自宅からどれぐらいの距離なら乗っていいと思うか

- 「自宅近くのバス停」については、100m以内を望む人が計5割程度を占めています。200m以内を加えると8割程度、300m以内を加えると9割程度を占めています。

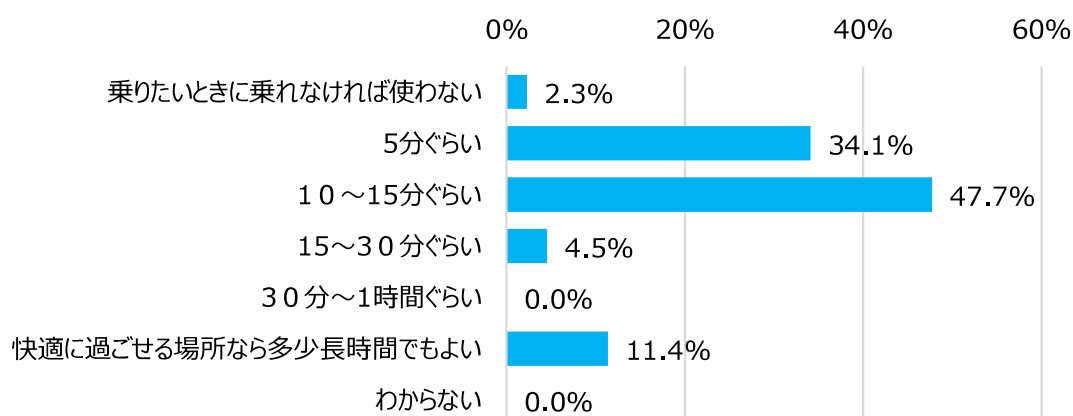
（自宅近くのバス停を望む人）自宅からどれぐらいの距離なら乗っていいと思うか



・（待ち時間に関することを望む人）我慢できるバスの待ち時間

- 「バスの待ち時間」については、10～15分程度を望む人が最も多く、次いで5分程度が多くなっています。
- 一方、快適に過ごせれば多少長時間でもよいという人もいます。

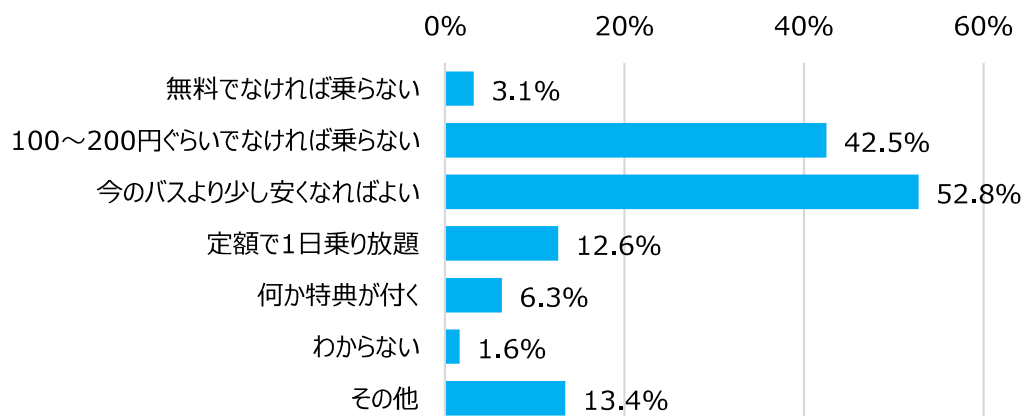
（待ち時間に関することを望む人）我慢できるバスの待ち時間



・（運賃に関することを望む人）どのような運賃になればよいか

- 「バスの運賃」については、今より少し安くなればよいという人が多い一方、100～200円ぐらいでなければ乗らないという人も多い状況です。

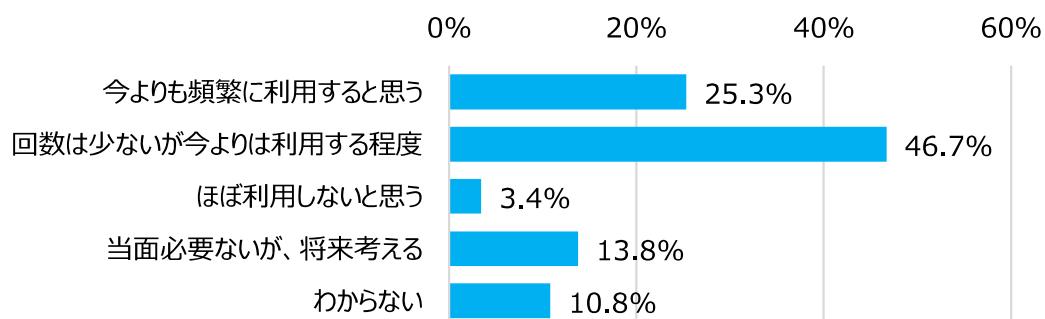
（運賃に関することを望む人）どのような運賃になればよいか【2つまで選択可】



・（バスに対する改善希望のある人全員）希望する事項が充実すればバスの利用頻度が増えるか

- 希望する事項が充実した場合の、路線バスの利用意向については、今よりも頻繁に利用するという人が2割以上いるものの、回数は少ないが今よりは増える程度という人が最も多く半数程度となっています。
- 充実したとしても、当面必要ない、利用しない、利用するかどうかわからないという人も少なくない状況です。

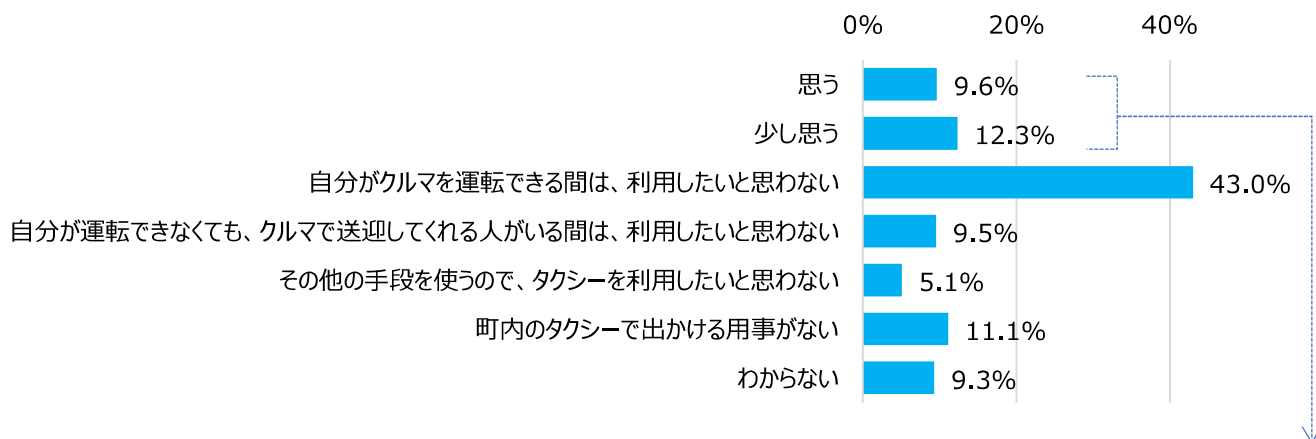
（バスに対する改善希望のある人全員）希望する事項が充実すればバスの利用頻度が増えるか



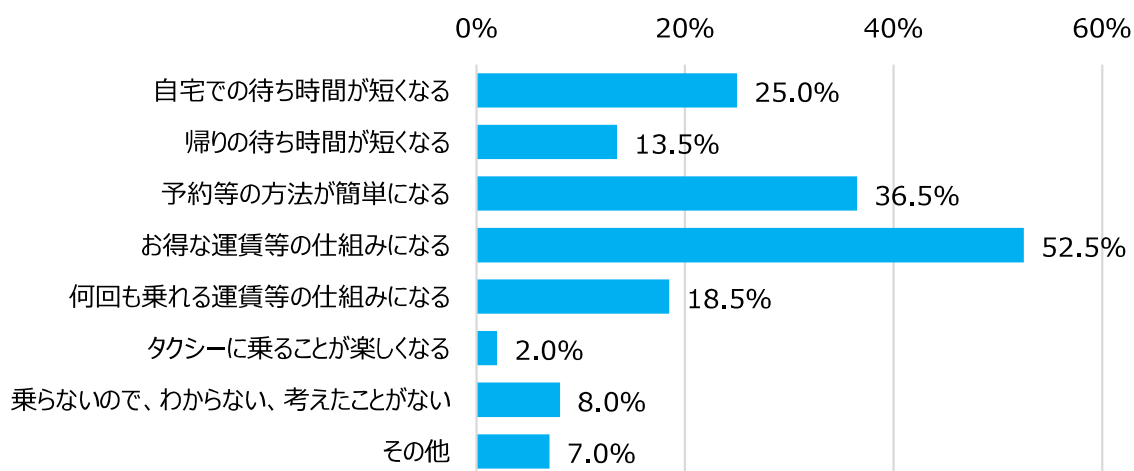
(3) タクシーの今後の利用意向

- 「条件が合えば、もっとタクシーを利用したい」と思う人は計2割程度です。
- もっと利用したいという人の条件は、お得、何回も乗れる等の「運賃の面の希望」や、「待ち時間、予約の面の希望」が多く挙げられています。

条件が合えば、もっとタクシーを利用したいか



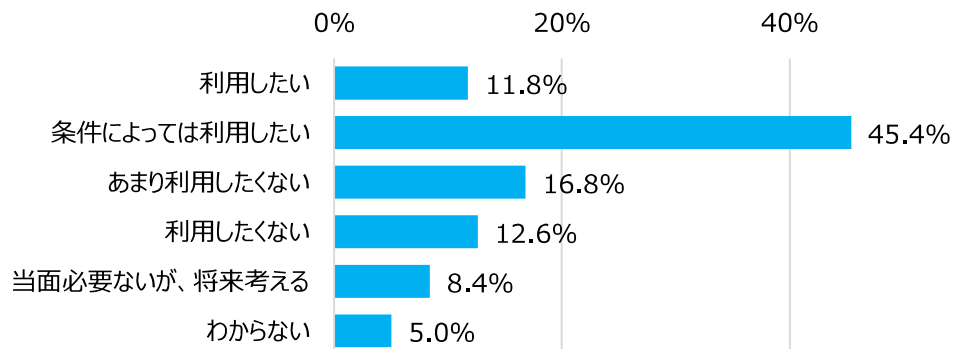
どのようになれば、利用したいと思うか【3つまで選択可】



・（運賃に関することを望む人）安価で相乗りのタクシーなら利用するか

- 運賃に関することを望む人のうち、「相乗りタクシー」があった場合、利用したいという人は1割程度で、「条件によっては利用したいという人」が半数弱となっています。
- 一方、利用したくない、当面必要ないという人も計4割弱となっています。

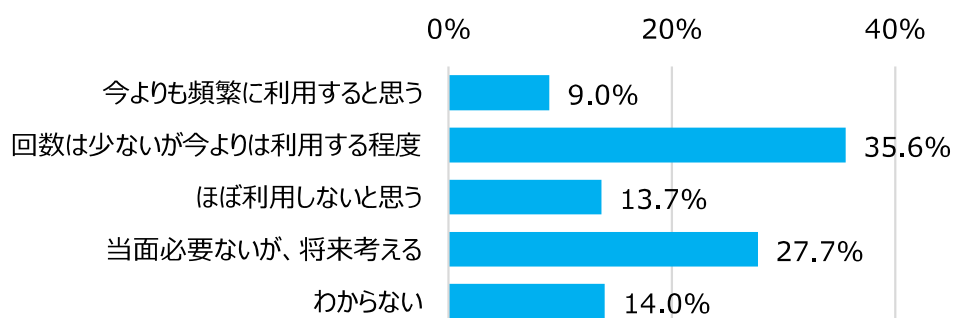
（運賃に関することを望む人）安価で相乗りのタクシーなら利用するか



・（タクシーに対する改善希望のある人全員）希望する事項が充実すればタクシーの利用頻度が増えるか

- 希望する事項が充実した場合の、タクシーの利用意向については、今よりも頻繁に利用するという人は1割程度であり、回数は少ないが今よりは増える程度という人が最も多く4割弱となっています。
- 充実したとしても、当面必要ない、利用しない、利用するかどうかわからないという人が多い状況です。

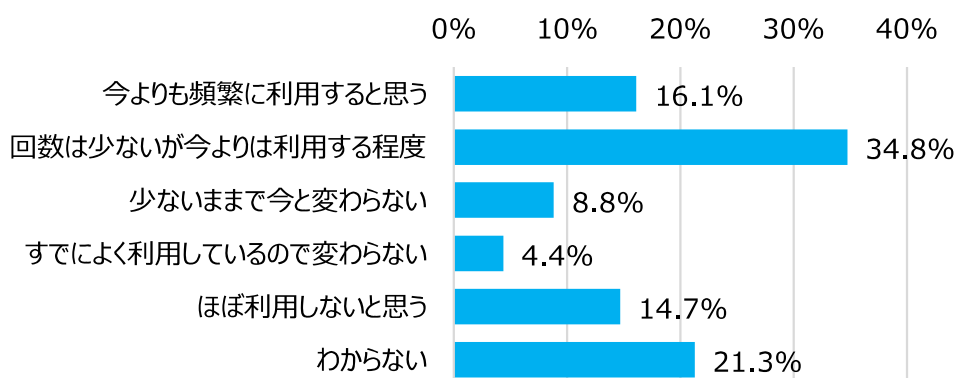
（タクシーに対する改善希望のある人全員）希望する事項が充実すればタクシーの利用頻度が増えるか



(4) 町内に乗り換えが容易なターミナル（バスの駅のような施設）ができた場合のバスの利用意向

- 町内に、お店や待合室があり、路線バスや、長距離バス、タクシー等が発着する乗り換えが容易なターミナル(バスの駅のような施設)ができた場合の、路線バスの利用意向をたずねたところ、回数は少ないが今よりは利用するという人が3割強、今より頻繁に利用するという人は2割弱、わからないという人が2割程度という状況でした。

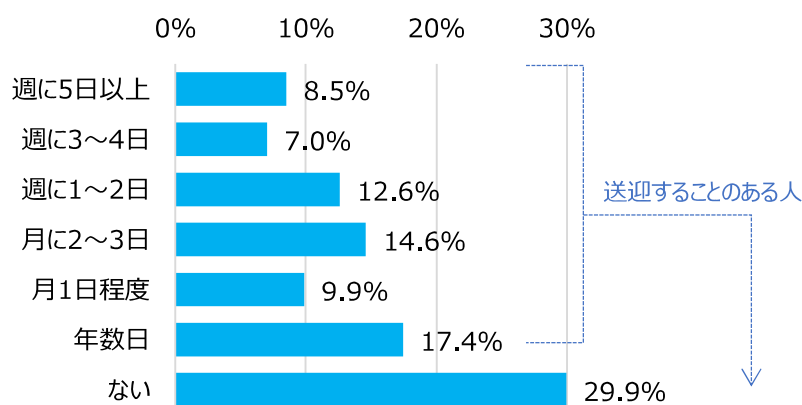
町内にバスターミナルができた場合のバスの利用意向



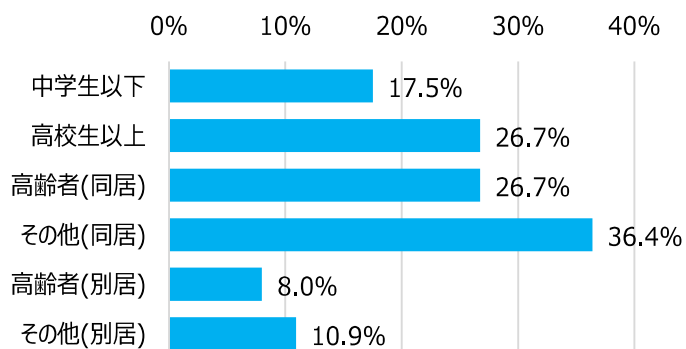
(5) 家族・親族等の送迎について

- 回答者のうち、家族・親族をクルマで送迎することのある人は計7割を占めています。
- 送迎する相手は、学生、高齢者ほか様々です。送迎の際の用事も、通院が最も多く、通学、通勤、買い物など、不可欠な用事が多いものの、趣味・遊び等での送迎も多くなっており、様々な用事で、家族・親族の助け合いが行われているように見受けられます。
- 送迎について、ふつうのことで特に何も思わない人が半数程度となっています。一方、負担に感じ回数を減らしたいという人が1割弱いる状況です。

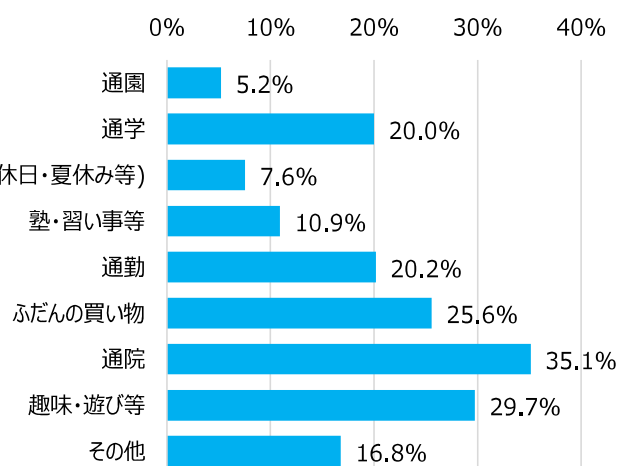
家族・親族をクルマで送迎する頻度



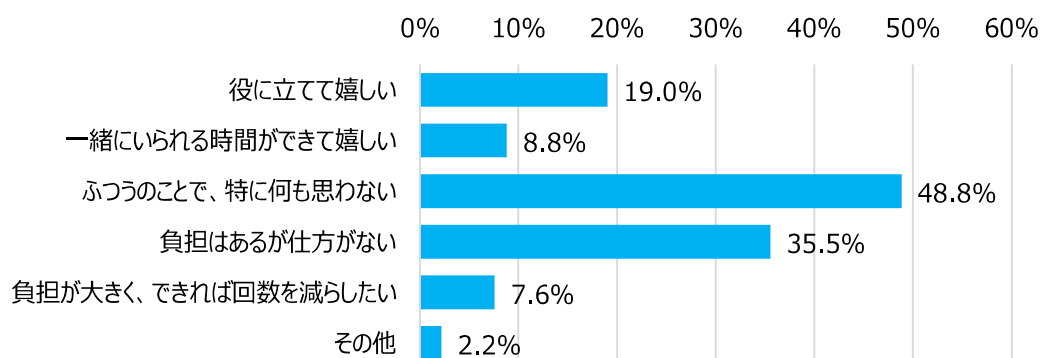
送迎する相手【複数選択可】



送迎する際の用事【3つまで選択可】

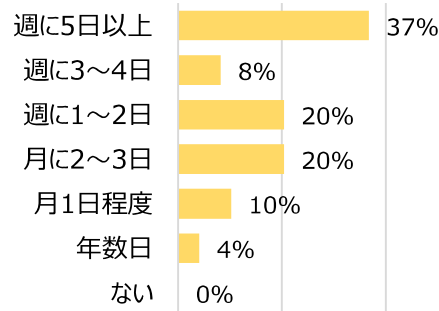


送迎に対する思い【複数選択可】



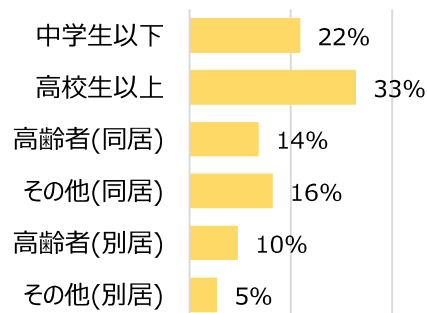
参考（負担が大きく、できれば送迎回数を減らしたい人）

送迎している頻度



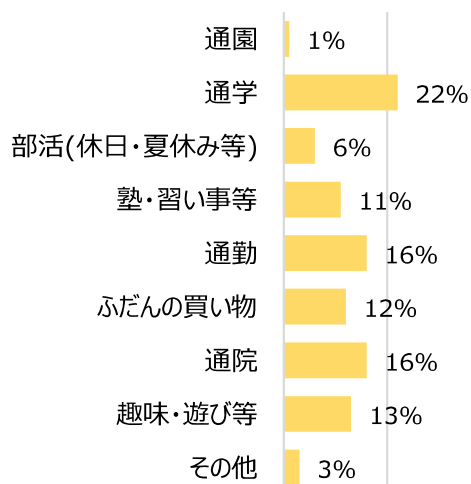
参考（負担が大きく、できれば送迎回数を減らしたい人）

送迎している相手



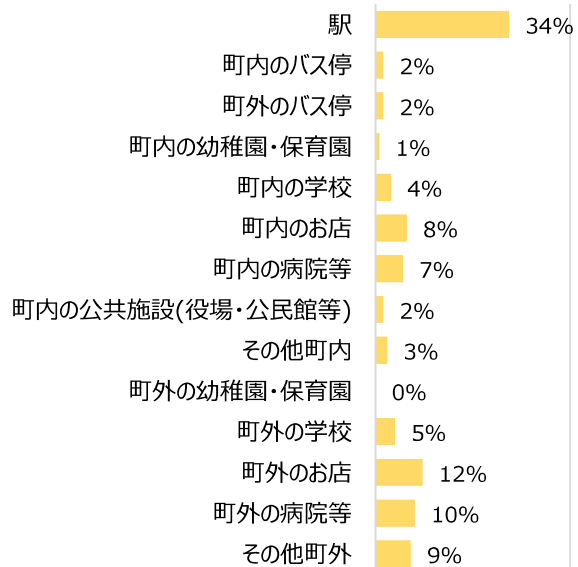
参考（負担が大きく、できれば送迎回数を減らしたい人）

送迎する際の用事



参考（負担が大きく、できれば送迎回数を減らしたい人）

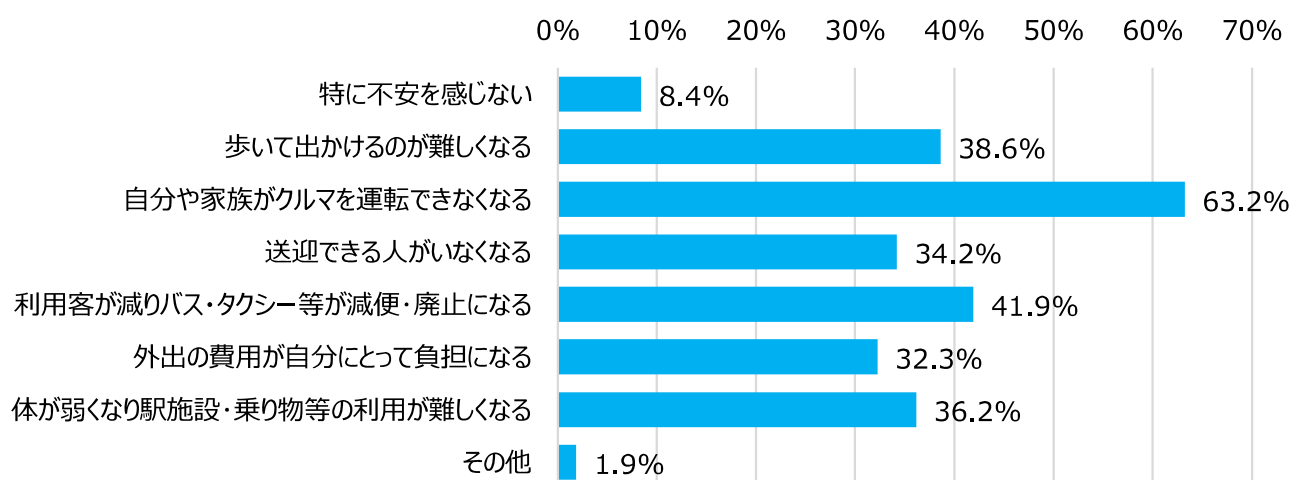
主な送迎先



(6) 将来の不安について

- 現在は、クルマでの外出が中心であり、バス・タクシーの利用頻度は少ない状況ですが、将来の外出手段については、自分や家族がクルマを運転できなくなることへの不安を感じる回答者が特に多く、6割を占めています。
- それ以外にも、多くの回答者が、バス・タクシー等が減便・廃止になること、歩いて出かけるのが難しくなること、体が弱くなり駅施設・乗り物等の利用が難しくなることへの不安を感じている状況です。

将来の外出手段についての不安【複数選択可】



(7) これからの公共交通について

- 町のこれからの公共交通に関する考え方については、地域の一人ひとりがもっと利用するよう心がけるべき、もっと積極的に関わるべき、町民で支えることも考えるべきといった意見がある一方、公共交通のことは行政(役場)で考えるべき、利用客が少ない路線等は見直しを考えるべきといった意見もあります。
- また、みんなが使う公共交通ではなく、外出が難しい人の福祉の個別送迎を充実すべきという意見も多くなっています。

町のこれからの公共交通に関する考え【複数選択可】



(その他、記述のあった主な内容)

- ・町に駅を作してほしい。(多数)
- ・町内を循環するバスがほしい。(多数)
- ・バスの便数を増やしてほしい。
- ・運賃を安くしてほしい。
- ・タクシーを使いたいときに、なかなか来ない。予約できない。
- ・今はクルマで外出できており、高齢になった時にバスを利用したい。
- ・高齢で歩けなくなった時が不安。公共交通以外の方法も考えてほしい。
- ・公共交通をなくさないでほしい。
- ・公共交通だけで対応するのは難しいのではないかなど
- ・若い人たちにとって便利にしてほしい。 など

Ⅱ. バス利用客へのアンケート（実施済み：入力・集計作業中）

1. 調査の実施概要

- 【調査日】 令和6年(2024年)9月26日(木)9時台～17時台
- 【調査場所】 赤岩入口、小河原、松伏ニュータウンショッピングセンター、わかば公園入口
の各バス停（運行事業者様と相談し乗降の多いバス停を選定）
- 【調査対象】 茨城急行バス、ジャパントローズバスの乗降客
- 【調査方法】 バス停に調査員を配置し、聞き取り、またはご本人が記述しその場で回収
- 【回答者数】 約140人（現在作業中につき速報値）



（概況）

- ・利用客のほとんどが、**松伏町民**。年代は、**高齢者以外**が多数。
- ・松伏町から、**町外**（越谷市や東京方面）へ**出かける**人が大半。
（ショッピングセンター前や、コンビニ前の乗降客も、店舗への来訪客ではなく、近傍の居住者）
- ・多くの人が、駅までの利用。
- ・大半の人は、いつも**同じバス路線**を利用、**行先も同じ**。時間帯もほぼ同様という人も多い。
- ・改善等の希望は、特にない（**今のままでよい、満足している、バスがあって助かっている**）という意見が**多数**。（**利用する人には満足されている。**）
- ・改善等の希望があった中では、**最終便を遅く・夜の便数をもう少し増やす、キャッシュレス（ICカード等）が比較的多数**。
- ・その他では、**昼間の便数を増やす、便数を減らさないでほしい、まちなかで気軽に乗れるように、バスの情報をわかりやすく（バスが今どこにいるかなど）、もう少し安く**等

Ⅲ. 「意見交換会等」について

(町民等との意見交換会、公共交通事業者ヒアリング)

外出や公共交通の利用の現状や生の声を把握するため、町民等との意見交換会や町内公共交通事業者ヒアリングを行いました。

1. 実施日時

No	カテゴリ		事業者・団体名	実施日時
1	町民等		松伏町 PTA 連合会役員の皆様	R6.8.27(火) 19:00～19:45
2			松伏高等学校の生徒の有志の皆様	R6.9.9(月) 16:00～17:15
3			松伏町けんこうクラブ連合会女性部会の皆様	R6.9.18(水) 11:00～11:50
4	公共交通事業者	バス	株式会社ジャパントローズ	R6.9.11(水) 10:00～11:15
5			茨城急行自動車株式会社	R6.9.11(水) 13:15～14:15
6		タクシー	松伏交通有限会社	R6.9.11(水) 14:30～15:20
7			飛鳥交通株式会社	R6.9.11(水) 15:30～16:35



2. 意見交換等の主な内容

2-1 町民等との意見交換会

(1) 普段の外出の状況全般

- 普段は**自転車、徒歩、家族による送迎**で移動している。【PTA】
- 参加者のうち、主に、**町内の生徒は自転車、町外の生徒はバス**で通学している。【高校生】
- 普段は**自転車、自分の運転、家族の送迎**で買い物や通院している。**友人と車を出し合っ**て、同乗して出かける人もいる。【女性部会】

(2) バスの利用状況

- 利用頻度は1か月に1回程度である。**駅に行く際にバスを利用**することがある。【PTA、女性部会】
- 子どもが通学で利用している。【PTA】
- 生徒が遊びに行く先の多くは**レイクタウン**。普段はバスを利用しないが、休日や夏休み等に**レイクタウンに遊びに行くとき**などにバスを利用する。【高校生】
- **町外（越谷、野田、吉川）の病院に行くとき**にバスを利用する人がいる。【女性部会】

(3) 現時点の困り事（ご自身や家族等）

- **朝のバスが少なく**、通学や通勤に使いづらい。（子どもは自転車で通学）【PTA】
- **登校時、下校時にバスの時間が合わない**ため、遅刻しないように早い時間のバスで登校したり、放課後は30分以上待って下校したりしている。**通学時間帯に便数を増やしてほしい**。【高校生】
- **バスは雨の日は混雑**して乗り切れず、**次の便**を待つことがある。（雨の日のみバスを利用する生徒もいる。）遅刻しそうになる。【高校生】
- **特にない**。買い物の後に荷物を持って帰るのが**大変**という方がいる。【女性部会】

(4) 将来の心配事（ご自身や家族等）

- 駅まで遠い地域では、高齢者でも車に頼らざるを得ない。スーパーも徒歩圏内ではない方もいて、移動スーパーもあまり便利でない。**高齢者が自分で運転しなくてよいようになってほしい**。【PTA】
- 親族が今後**運転免許を返納**した時に、買い物の際の**移動手段を心配**している。【女性部会】

（５）公共交通に望むこと、公共交通に関するアイデア等

- タローズバスはICカードを使えず、乗降に時間がかかったり、現金を持っておらず困っている人を見たりしたことがある。**キャッシュレス（ICカード等）で利用できる**になるとよい。【PTA、高校生】
- バス停に駐輪場**があるとよい。【PTA】
- バスの乗り方がわからない、バスがいつ来るかわからない、という高齢者も多い。高齢者に優しい情報提供が必要**である。【PTA】
- 大人がクルマ中心で、バスを使わないライフスタイルなので、子どもがバスの乗り方を知ることができないのが将来的に心配**。町民まつりやミニまつぶし等のイベントの際に**バス乗車体験**を実施したらどうか。**町内を周回するツアー**を開催したりしたらどうか。【PTA】
- 涼しくバスを待つことができるような環境にしてほしい。**バスの待合室等を充実**させたら利用者が増えると思う。【高校生】
- 駅のコインパーキングの料金を上げたらどうか。（自動車利用が減り、公共交通を利用してもらえるのではないか）【高校生】
- デジタルのバス時刻表などを設置して、バスの遅れ時間を表示するものがあればいい**と思う。【高校生】
- 卒業後に運転免許は取るが、バスには乗ると思う。みんながバスに乗るように**キャンペーン等**をしてはどうか。【高校生】
- タクシー利用券とバス利用券**があるが、片方しか選べず不便である。交付額は今と同じでもよいので両方使えるようにしてほしい。【女性部会】
- タクシー券をもっと使いたい人が足りない人もいれば、全く使わない人もいる**。一律に交付するのではなく、本当に必要な方に行き渡るとよい。タクシーに誰かとの**相乗りは、あまりしていない**（抵抗感がある様子）。ただし、なかには**友達等と誘い合って相乗りするなど工夫している人もいる**。【女性部会】
- 町内をぐるぐる回って、手を挙げると停まって乗せてくれるような乗り物**があるとよい。**まちなかを循環するような乗り物**があるとよい。運転に不安がある人もいるので、**運転しなくても、あまりお金を出さなくても暮らせるように**したい。【女性部会】
- 何かを決める際に、**いつも、みんなの意見を聞くようにするのがよい**。目先のことでなく、みんなが歳を取った時にどうするか、車や免許を持たない若い人が便利だと思って松伏町に住んでくれるか、などを含めて考えるとよい。役場の人が人口をどう増やすか考えたほうがよい。【女性部会】

2-2 バス事業者ヒアリング

(1) 利用客の状況

- **通勤・通学の利用がメインで、駅まで向かう方が多い。日中は利用がかなり少ない。** 町外の病院まで行かれるお年寄りもいるが、通勤者などもあるため若い方がいないわけではない。
- 松伏町内でのみの利用はほとんどなく、**越谷市内へ向かう方が多い。**
- **コロナ禍**で減便も行い、利用客も減少している。

(2) 運行・運営面の課題

- **人手不足（乗務員不足）**が大きな問題で、**高齢化**も進んでおり、**必要な人数より少ない状況**で運行している。50代後半の乗務員も多く、数年後に辞めてしまう。
- **車両の老朽化と維持管理**も問題で、車両の価格が上昇している。

(3) 近年の取り組み等

- 越谷市・松伏町合同の**就職関係のイベント**に参加した。
- 採用活動にあたり、**シフトを選択**できるようにしたり、**免許取得の費用負担**などを行ったりしている。
- **路線やバス停やダイヤの問い合わせ**がしばしばあり、高齢者が多いように思われる。**他社の路線**の問い合わせもある。遅延に関する問い合わせもある。
- **社内では、バスのリアルタイムの位置情報**を把握できている。
- 当面は路線の廃止等はないが**乗務員不足により減便等**の予定はある。

2-3 タクシー事業者ヒアリング

(1) 利用客の状況

- ピークは午前9～10時頃で、通院の方がほとんどである。
- 固定客がほとんどで、高齢者の通院や買い物に利用されている。行きはバスや家族の送迎、帰りはタクシーという利用もある。
- コロナ禍で日中も夜も客が減り、22時以降はほとんどなくなってしまった。
- バスでは乗り継ぎが必要な場所間での利用が多い。高齢者の通院がほとんど。
- コロナ禍後に利用が増えた。固定客とそれ以外の利用客は半々くらいである。

(2) 近年の取り組みや今後の展望

- 車両に対して乗務員は不足しており、ハローワークやネット等で募集している。
- 求人のための法人を作り、複数営業所一括で募集している。
- ライドシェアは問題で、ライドシェアとタクシーの違いをはっきりする必要がある。(地域密着のホスピタリティなどタクシーの良いところをアピール)

(3) 公共交通に関するアイデア等

- (予算や運転手確保の問題を一旦考慮しないのであれば)EV車両等で町内のエリア限定の専用車両を役場に2、3台置いたら面白いのではないかと。町内であれば運行時間が読めるので、2台程度で運行することができると思う。
- 道の駅ができれば、交通のハブのようなものを作り、直通バス、自動運転バス、路線バス、タクシーなどを乗り継げるようにしたらどうか。松伏町の規模なら自動運転バスはどうか。